地域包括ケアの地区展開　令和８年度　上祖師谷　地区アセスメント

人口

面積（k㎡）	人口（人）	人口密度（人/k㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率（%）	年少人口（人）	年少人口率（%）	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持者		障害サービス受給者	
										高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯	世帯率（%）	内高齢単身・高のみ世帯率	認定者数（人）	認定率（%）	身体障害者手帳	愛の手帳	自立支援給付	障害児通所給付
2.162	32,224	14,905	6,582	20.43%	3,840	11.92%	16,159	1.99	4,822	2,162	1,288	1,372	29.84%	21.35%	1,347	20.46%	667	207	257	146

傾向

〇人口規模は全28地区中で13番目。1年前との比較では、人口、世帯数ともにわずかに減少している（人口-370人、世帯数-54世帯）。20年前との比較では人口＋16.6%、世帯数＋33.3%、10年間では人口＋5.9%、世帯数＋11.2%の増加で何れも区全体の増加率より高い。特に粕谷の人口が増えている（20年間で粕谷＋30.1%、上祖師谷＋8.7%）。
〇0～19歳の子どもの人口は、2021年(令和3年)までは増加傾向にあったがこれ以降減少している（2021年との比較で0～9歳は-24.9%、10～19歳は増加傾向が続いており＋3.2%）。
〇平均世帯人数は、10年前との比較でわずかに減少しているが（2.09人⇒1.99人）、区全体の1.82人より多い。

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数					社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数		主な活動団体とその取組内容
			サロン	子育てサロン	ミニデイ								
5	5,845	20	16	4	0		9	14	70	3	3		〇粕谷区民センター運営協議会　夏休み夕涼み会、文化祭、センター子どもまつり、学習・体験講座、講演会など 〇トライアングルフェスタ　青少年地区委員会を中心に各種地域活動団体で作るフィールドフェスティバル実行委員会、ぱる児童館の利用者・支援者からなるぱるランド実行委員会、上智大学留学生会館の三者が合同でおまつりを開催。毎年11月に祖師谷公園で開催。来場者約8千人。 〇ココロンの会　ココロンのつどい、秋晴れコンサート（高齢者向けイベントの開催） 〇上祖師谷郷土研究会、蘆花の来た道ウォーキング実行委員会　区民向けイベントの開催や地区イベント等へ出店参加。 〇アクションチーム（にれの会）　ラジオ体操会(週1回)や交流会(不定期)で活動中。

生活支援

地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム		障害者・児　通所系・共同生活援助等
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム						うち、特定施設入居者生活介護	
0	0	2	0	0	3	0	2	2	0	0	10	7	働く場の提供と訓練→就労継続支援施設（さくら美術工房） 援助付き共同生活の場→共同生活援助（グループホームスマイルちとから、ゴールドクレスト） 一時的な入所施設→短期入所施設（やすらぎステイズ） 農作業を通じた知的障害者への教育→（夢育て農園ちとから）

障害相談支援機関・相談支援事業所

生活支援に関する相談→烏山総合支所保健福祉課障害支援（烏山地区）
障害者等の相談先→地域障害者相談支援センターぽーとからすやま（烏山地区）
サービス利用計画の作成→特定相談支援事業者・障害児相談支援事業者（相談支援ここから、相談室にじのこ、マーベラス、相談支援センターちぐさ、オレンジケア相談室、相談支援クロスロード、相談支援おはな（全て烏山地区）
精神保健に関することの電話相談→東京都立中部総合精神保健福祉センター（上北沢地区）

医療

医療機関、訪問看護等

〇急性期の病気治療は遠方の大学病院等に通うものの、健康診断やちょっとした病気、慢性的な病気については近くのかかりつけ医に通う方が多い。
〇かかりつけ医は下記の地区の医院のほか、成城学園前・仙川・千歳烏山駅周辺の医院を受診している。
〇通院しづらくなった方が、訪問診療へ切り替えることが増えている。
〇入退院時に病院の医療ソーシャルワーカーとあんしんすこやかセンターが連携して入退院支援を行うこともある。

病院・医院・クリニック→至誠会第二病院、ひらくクリニック、恵泉クリニック、上祖師谷クリニック、上祖師谷かたらいクリニック、大賀内科クリニック、香川内科クリニック、田村クリニック、芦花公園クリニック、東京ハートリズムクリニック、塩島内科医院、森整形外科
訪問診療→恵泉クリニック、一生堂クリニック
歯　科→清水歯科医院、歯科ワタナベ医院、千歳烏山やの歯科、石川歯科医院、高尾歯科医院、クローバー歯科クリニック、えばた歯科医院
訪問看護→訪問看護ファミリー・ホスピス成城、訪問看護リハビリステーション東京敬寿園、訪問看護ステーション芦花、SHC訪問看護ステーション、LE在宅・施設訪問看護リハビリステーション千歳烏山、訪問看護ステーション和来せたがや
薬　局　→薬局わかば、ミスト薬局、ゆうあい薬局、タカノ薬局、粕谷薬局、さくら薬局えのき店、さくら薬局粕谷店、上祖師谷薬局、たから薬局上祖師谷店

子ども・教育	児童館	上祖師谷ぱる児童館、粕谷児童館
	その他、児童施設	ベネッセ学童クラブ芦花公園、めぶきヶ丘上祖師谷
	おでかけひろば	おひさまひろば(祖師谷保育園内)
	保育施設	上祖師谷保育園、上祖師谷南保育園、八幡山保育園、祖師谷保育園、祖師谷保育園分園、"Cha Cha Children Soshigayakoen"、"Cha Cha Children Soshigayakoen Park side"、ピノキオ幼児舎芦花保育園、芦花の丘かたるば保育園、芦花そらいろ保育園
	幼稚園	芦花幼稚園
	新ＢＯＰ	各小学校内にある新ＢＯＰ（学童クラブと遊び場）
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	芦花小学校、塚戸小学校（学区域内）、千歳小学校（学区域内）、烏山小学校（学区域内）
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	芦花中学校、上祖師谷中学校、千歳中学校（学区域内）
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	都立芦花高校、至誠会看護専門学校、上智大学祖師谷国際交流会館
	子どもに関するその他の事項	
	子ども食堂→さんゆう食堂、Café T-lab、DONCHICCHI 産後ケア事業→至誠会第二病院	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	就労・家計相談が必要な場合のつなぎ先→ぷらっとホーム世田谷（太子堂） 日常的な金銭管理が必要な場合のつなぎ先→社会福祉協議会のあんしん事業（南烏山） 判断能力の低下により財産・身上管理が必要な場合のつなぎ先→成年後見センターえみぃ（成城） 終活相談・身寄りがなく資力が十分でない高齢者の終身サポート→終活支援センター(成城）※令和8年7月1日開設 仕事を探している方の支援→シルバー人材センター（宮坂）三茶お仕事カフェ（三軒茶屋） ボランティアをしたい・探している→烏山ボランティアビューロー、社会福祉協議会地区事務局	
公共施設	図書舘	粕谷図書館
	地区会館、区民集会所など	粕谷区民センター、上祖師谷地区会館、上祖師谷一丁目区民集会所

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	都立祖師谷公園、都立蘆花恒春園、その他比較的に規模の小さな公園（区立公園・広場）が17個所。

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

〇祖師谷公園、蘆花恒春園と大規模な公園があり、人々の憩いの場や様々な地域イベントの会場としても利用されている。
〇地区内には民有地の竹林が公開される等みどりのある環境が保全されている。
〇仙川の川沿いには遊歩道が整備され、散歩やジョギングなどに利用されている。
〇地区内に大型商業施設や鉄道の駅がない反面、地区一帯が静かな住環境となっている。また、区内でも比較的に農地が残っており、野菜の無人販売所が点在している。
〇地区東側にあるガスホルダーが地区のランドマークになっている。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

〇最寄駅は住所地により京王線千歳烏山、仙川、芦花公園、八幡山、小田急線成城学園前に分かれる。
〇公共交通手段は、千歳烏山⇔千歳船橋、千歳烏山⇔成城学園前、成城学園前⇔狛江（仙川）間などのバス路線となる。
〇令和５年４月、補助５４号線（都道）が榎交差点から祖師谷公園まで整備され、現在、西側の成城通りまでの区間を整備中。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

〇日常的な買い物の場所も、地区外となる千歳烏山、芦花公園、八幡山、仙川、成城学園前の各駅周辺を利用する住民が多い。

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
音楽と花と文学と笑顔があふれるまち ～誘いあい、知りあい、支えあい　地域の絆～

課題、取組みの方向性
1. 地域コミュニティの推進 もともと祭りや地域イベントが盛んで、上祖師谷地区では、イベントの開催や団体活動を通じたコミュニティづくりをまちづくりの目標に掲げている。四者並びに地域団体と協力して交流の機会や場を多数設けることでまちづくりの推進を図る。
2. 子ども・高齢者の居場所づくり 地域の中で誰もが自分らしく過ごせる居心地の良い場所や機会を増やしていく。
3. 身近なお助け活動の推進 日常生活でチョットした手助けが必要な状況は誰にでもある。自分が困っている時には助けてと言える、困っていそうな人を見つけたら声を掛けられる、助け合える地域づくりを推進する。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	地区最大の子どもまつり「トライアングルフェスタ」を開催し、青少年の健全育成並びに地域団体間の交流を推進する。まちづくりセンター、上祖師谷ぱる児童館は実行委員会事務局として参画し、あんしんすこやかセンター、地区社会福祉協議会、粕谷児童館は出店団体等の一員として参加する。
②	自治会や地域団体、区民センター運営協議会等が開催するイベントやお祭りに対して、広報や物品貸与の事前準備、当日の出店参加等により協力し、地域のコミュニティづくりを推進する。
③	子ども・高齢者が居心地の良い場所を見つけられるよう、季節や場所のおすすめ情報、イベント情報を定期的に発信していく。
④	子どもの居場所づくりでは、不登校児童のフリースペース、出張児童館など子ども一人ひとりが自分らしく過ごせる場所や機会を増やしていく。地域にある居場所への同行支援や支援者同士の顔の見える関係づくりを進めていく。
⑤	メンバー同士の心遣いや助けあいで、新規参加者も含めて多様な方が参加しやすく、既存メンバーも参加し続けられるグループとなるよう、活動団体と相談しやすい関係をつくり、個別相談や団体の代表に向けた講座等の機会を設ける。
⑥	地域でチョットした困りごとに気付ける人を増やせる様、令和7年度にチョットした気づきのポイントをまとめたA5版両面刷りのフライヤーを作成したので、8年度は地区内のイベントや交流会事業等での配布を行い、普及啓発を図る。